

モルテン・アドバンスリーグ大阪2011 /フューチャーリーグ大阪2011 大会要項

大会名	モルテン・アドバンスリーグ大阪2011	フューチャーリーグ大阪2011
主催	(社)大阪府サッカー協会	
主管	(社)大阪府サッカー協会 第3種委員会	
協賛	モルテン株式会社	
開催時期	2011年4月1日～2011年9月11日 入替戦：9月23日（金祝）	2011年5月28日～2011年10月
会場	大阪府内各会場	
競技規則	最新の(財)日本サッカー協会制定の「競技規則」による	
参加資格	・ 1996年(H8)4月2日以降の出生者 ・ 参加チームのメンバーは11名以上の選手で構成され、その内中学校年齢層の選手数は8名以上。	・ 1998年(H10)1月1日以降の出生者 ・ 参加チームのメンバーは8名以上の選手で構成され、その内中学校年齢層の選手数は5名以上。
	・ (財)日本サッカー協会に第3種加盟登録したチームの選手で、2重活動選手は認められない。 ・ リーグ期間中に上記条件を満たさなくなった場合は、リーグ棄権とし、当該チームの全試合記録を抹消する。	
最少スタッフ数	2名(1部～3部)、1名(4部)	1名(全ディビジョン)
参加費	¥20,000- 参加費振込期日：1部～3部 2011年4月1日(金) 4部 2011年4月20日(水)	¥15,000- 参加費振込期日：2011年5月13日(金)
参加費振込先	●三菱東京UFJ銀行：大阪京橋支店 ●普通 ●口座番号：0051639 ●口座名義：アドバンスリーグ アラシマサトシ	・ 後日アナウンス
4種登録選手出場について	・ 認める。(クラブ申請完了必須) ・ 試合への同時出場選手数は最大5名とする。	・ 認める。(クラブ申請完了必須) ・ 試合への同時出場選手数は最大4名とする。
女子選手の 出場について	認める	
大会エントリー (1部～3部)	エントリー期日：2011年4月1日(金) 3種委員会ホームページ内、エントリーフォームから行う。	エントリー期日：2011年5月13日(金) 3種委員会ホームページ内、エントリーフォームから行う。
大会エントリー (4部)	エントリー期日：2011年4月20日(水) 3種委員会ホームページ内、エントリーフォームから行う。	
運営会議 (1部～3部)	4月3日(日) 会場：パナソニックリゾート大阪 < http://www.mhio.panasonic.co.jp/hoyou/01/access.htm >	5月21日(土) 会場：パナソニックリゾート大阪 < http://www.mhio.panasonic.co.jp/hoyou/01/access.htm >
	4月23日(土) 会場：パナソニックリゾート大阪 < http://www.mhio.panasonic.co.jp/hoyou/01/access.htm >	
競技方法	・ 1部(1ブロック)、2部(2ブロック)、3部(3ブロック)、4部(1～nブロック)による4リーグ制とし、1回戦制のリーグ戦を行う。但し、1ブロックのチーム数が8以下の場合2回戦制のリーグ戦を行う。 ・ リーグ戦の勝点は、勝ち＝3点 引き分け＝1点 負け＝0点 ・ 勝点・得失点・総得点・当該対戦結果・抽選の順とする。 ・ 試合時間は60分(30-5-30)とする。 ・ 主審は上記試合時間の他、ロスタイムも適宜採用しなければならない。 ・ やむを得ない場合を除き、原則1日1試合とする。 ・ 棄権試合が4試合を超えた場合、当該チームはそれ以後のリーグ戦参加資格を失い、それまでの試合結果も削除される。次シーズンはディビジョンが1つ降格する。	・ 1部、2部、3部、4部による4リーグ制としアドバンスリーグに準ずる。(参加チーム数により柔軟に対応する) ・ 4部のチーム数(ブロック数)については未定。3種委員会にて決定する。 ・ リーグ戦の勝点は、勝ち＝3点 引き分け＝1点 負け＝0点 ・ 勝点・ゴールディファレンス・総得点・対戦結果・抽選の順とする。 ・ 試合時間は40分(20-5-20)とする。 ・ 主審は上記試合時間の他、ロスタイムも適宜採用しなければならない。 ・ やむを得ない場合を除き、原則1日1試合とする。
ディビジョン 編 成	・ 1部：8～14チーム、2部：12チーム、3部：11チーム、4部：7～13チームで編成し、ブロック及びディビジョンは大会エントリーチーム数の増減及び、サンライズリーグとの昇降格チーム数により年度毎に随時調整する。 ・ チーム数の調整は1部・4部にて行う。 ・ 次年度、エントリー時に欠員が出た場合は、規定により繰り上がり昇格を行う。適用順位は「ブロック決定方法」により決定された上位チームからとする。	・ アドバンスリーグ大阪2011のブロック編成に準ずる。

ブロック 決定方法	・10-11モルデン・アドバンスリーグ大阪プレシーズンの通し順位により決定する(全ディビジョン)。 ・昇降格のなかったチームはプレシーズンと同じブロックで行う。 ・昇降格があったチームは通し順位をつけ、コの字型に組み込む(2部・3部・4部) ・モルデン・アドバンスリーグ大阪2011の編成はエントリーチーム数によって異なるが、以下の通りとする。 1部 : 10チーム 2部Aブロック : 12チーム 2部Bブロック : 12チーム 3部Aブロック : 11チーム 3部Bブロック : 11チーム 3部Cブロック : 11チーム ・4部は最低7チーム・最高13チームで編成し、エントリーチーム数によってブロック数(1～n)を決定する。 ・よって4部ではチーム数がブロック間で異なる場合がある。 ・(1)上位ディビジョンからの降格チームが上位、 ・(2)前年度のブロック順位、(3)勝点、(4)得失点(2部・3部) ・残留チームが入替戦より昇格したチームよりも上位(1部・2部) ・ブロック間の同一順位の優劣は勝点および得失点により決定(2部・3部) ・チーム数の異なるブロック間での順位付けは、最下位チームの成績を削除し、試合数を同数にして勝点、得失点により決定する。 ・(これによる順位の変動は考慮しない) ・複数ブロックの場合は、順位決定後、コの字型に組み込む(2部・3部・4部) ・新規参加チーム、合同チーム及び複数チームでのエントリーの場合は、4部からのスタートとする。(大会エントリー申し込み順に組み込む)	・1部、2部、3部に関してはU-15と同じブロックでリーグ戦を行う。 ・4部については、参加チーム数を鑑み、ブロック編成を行う。
昇降格規定	●エントリーチーム数によって異なるが、以下の通りとする。 ・1部：下位2チームが自動降格、続く2チームを入替戦とする ・2部：各ブロック1位(自動昇格)・各ブロック2位(入替戦) 各ブロック12位(自動降格) ・3部：各ブロック1位、2位(自動昇格)、各ブロック3位の3チームのうち通し順位が上位の2チームは2部と入替戦を行う。 各ブロック11位(入替戦)、各ブロック11位(自動降格) ・なお2位同士の通し順位の決め方は「ブロック決定方法」の通し順位の決め方に準ずる ・4部：大会エントリーチーム数によるブロック数によって決定 (全体で13チームが自動昇格、3チームが入替戦とする) ・残留希望について(昇格辞退)について 昇格を希望しないチームは昇格権を辞退することができる。 次年度のエントリー時に3種委員会まで申し入れをすること。 但し、本規定は4部以下のみの適用とする。	・将来的には昇降格規定を作成するが、2011年度昇降格は実施しないこととする。
入 替 戦	・1部⇔2部 2試合 / 2部⇔3部 2試合 / 3部⇔4部 3試合 ・入替戦は70分(35-10-35)で行い、引き分けの場合は上位ディビジョンチームを残留とする。 ・入替戦は2011年9月23日(金祝)にて行う。 ・リーグ戦最終節時のWeb登録のメンバーを試合出場可能メンバーとし、リーグ戦最終節以後の移籍は認めない。	・入替戦は行わない
選手エントリー	・試合開始30分前までに本部へ【エントリー表・メンバー表】2部と【申し送り事項】を提出する。 ・試合毎の登録は20名までとし、先発に○、サブに△をつける。 ・選手エントリーについては毎節ごとにメンバー表に選手を記入するので、毎節、選手証を持参し提出する。 ・但し、手元に届いていない場合のみ【Web登録サイト「最新の選手登録・申請状況」画面コピー】での代替えを認める。	
選手交代	・サブは9名まで登録可能で自由な交代を採用する。 ・選手交代用紙は使用しない。	・サブは12名まで登録可能で自由な交代を採用する。 ・選手交代用紙は使用しない。
帯同審判	・主審は18歳以上(高校生年代不可)の有資格者 ・副審は15歳以上(高校生年代可)の有資格者 ・但し、4部は選手も可(資格の有無は問わない) ・審判員の不慮の事故により、試合続行が不可能な場合は、会場責任者と試合責任者と協議の上対応し、必ず試合は成立させる。	・主審は当該チームの相互審判とする。 (試合当該チームで前後半で主審と試合責任を分担する) ・主審は15歳以上(中学生年代不可)の有資格者 ・1人審判制採用(副審不要) ・審判員の不慮の事故により、試合続行が不可能な場合は、会場責任者と試合責任者と協議の上対応し、必ず試合は成立させる。

試合の成立	・試合開始時に11名未満の場合は棄権とする。 ・試合経過途中で選手数が7名未満になった場合、棄権とする。 ・中学生年代の選手が6名、同時出場していること。6名を下回った場合、棄権とする。（※エントリー選手数と混同しないように注意） ・棄権が生じた際の試合スコアは0-5とするが、これにより得失点などで順位に影響を及ぼす場合、棄権チームとのスコアは全て削除する。	・試合開始時に8名未満の場合は棄権とする。 ・試合経過途中で選手数が6名未満になった場合、棄権とする。 ・中学生年代の選手が4名、同時出場していること。4名を下回った場合、棄権とする。（※エントリー選手数と混同しないように注意） ・棄権が生じた際の試合スコアは0-5とするが、これにより得失点などで順位に影響を及ぼす場合、棄権チームとのスコアは全て削除する。
警告・退場等	・リーグ期間中に、警告を2度命じられた選手は、次の1試合は出場停止 ・試合中に退場を命じられた選手は、最低次の1試合は出場停止となる ・その後の処置については全てモルテン・アドバンスリーグ大阪2011フェアプレー・規律委員会にて決定する。 ・基本的に、警告・退場者ともに、他の大会への持ち越しはしない。 ・但し、2試合以上の出場停止になるような重要事項の場合は、別途モルテン・アドバンスリーグ大阪2011フェアプレー・規律委員会にて出場停止試合数を決定する。	・リーグ期間中に、警告を2度命じられた選手は、次の1試合は出場停止 ・試合中に退場を命じられた選手は、最低次の1試合は出場停止となる。 ・その後の処置については全てフューチャーリーグフェアプレー・規律委員会にて決定する。 ・基本的に、警告・退場者ともに、他の大会への持ち越しはしない。 ・但し、2試合以上の出場停止になるような重要事項の場合は、別途フューチャーリーグフェアプレー・規律委員会にて消化する(持越す)大会を決定する。
試合報告 審判報告	・試合責任者は試合終了後、試合責任者報告書を記入し、会場責任者に提出する。 ・退場等重要事項が発生した場合は、担当主審が審判報告書を会場責任者へ報告する。	
試合責任の 役 割	・試合責任者は、第4審判の役割も担っている。 ・【試合記録報告書】の準備・記入・作成 ・【メンバー表】と【選手証】との照合を行う（試合出場選手の登録の確認） ・選手証の携帯および提出を基本とするが、手元に届いていない場合のみ【Web登録サイト最新の選手登録・申請状況】画面コピー】での代替えを認める。 ・メンバー表、審判証、選手交代時の確認 ・問題が発生した場合の報告義務 ・試合中であれば、主審への確に助言する。 ・試合後、主審から詳細を聞き【試合記録報告書】に内容を記入し、報告する。 主審が居ない場合は試合責任者が【試合記録報告書】に内容を記入し、報告する。 ・重要事項が発生した場合、【試合記録報告書】に詳細を記入し会場責任者へ渡す。 ・【申し送り事項】に記入し、各チームスタッフへ返却する。	
会場責任 の役割	・主審・副審が居ない場合の対応 ・会場設営・ピッチライン・本部・チームベンチ・ゴール・コーナーフラッグ・副審フラッグ・エアポンプの用意 ・試合終了後、速やかに試合結果報告サイトより試合結果を報告する(当日の19:00までに) ・重要事項(退場など)が発生した場合、試合結果とともに速やかにメールまたはFAXにて報告する(当日の19:00までに)	
試合結果 報告宛先	■結果報告サイト http://www.ofa-3shu.jp/gm/gm.cgi ●試合終了後、早急に報告(当日の19:00までに報告) ●この報告は会場責任者が行う(堺NTCの場合は試合責任者が入力)	
会場責任者 報告について	・会場責任者報告書については、重要事項(退場など)が発生した時のみ、メールまたはFAXで報告をする。(当日の19:00までに) ■メールアドレス 2011-advance@osaka-fa.jp	・会場責任者報告書については、重要事項(退場など)が発生した時のみ、メールまたはFAXで報告をする。(当日の19:00までに) ■メールアドレス 2011-future@osaka-fa.jp ■FAX: (06)6858-8177 (※RESC内)
ボ ー ル	・5号、検定球(公認球)を使用する。 ・両チームより持ち寄り主審が決定する。 ・協賛企業よりボールの提供があった場合はそれを必ず持ち寄る事。	
ユニフォーム	・ユニフォームは正・副(GKを含む)の2色を必ず用意しなければならない。 ・GKユニフォームは、FPとは明確に違う色を用いるものとする。またその際には、FPの2色と重ならないようにしなければならない。 ・ユニフォームはカラー・デザイン・マーク等も必ず一致させる。 ・尚、使用するユニフォームの最終決定は試合開始30分前を目安に主審が行う。 ・アンダーシャツを着用する場合はチームで統一した色をもちいること。 ・アンダーショーツを着用する場合、その主たる色はショーツの主たる色と同じにする。 ・競技者の安全のために、一切の装身具の着用を禁止し、装身具を覆うテープの使用も不可とする。	・ユニフォームが1着しかそろっていない場合で、対戦チームと色が同色になった場合のみ、統一したシャツ(体操服等)の上にナンバー付きのピブスの着用を認める。ただし各選手、固有の番号を有していること。 ・G Kユニフォームは、F Pとは明確に違う色を用いるものとする。 ・競技者の安全のために、一切の装身具の着用を禁止し、装身具を覆うテープの使用も不可する。

合同チームに 関して	・選手数が不足している同種別の複数チームによる「合同チーム」の大会参加については、次の条件を満たしており、(社)大阪府サッカー協会第3種委員会 リーグ実行委員会の承認を得た場合においてのみ認める事とする。 ・合同するチームは3チームまでとする。 ・合同するチーム及び選手は「参加資格」を満たしている事。 ・大会参加申込の手続きは、それぞれのチームの代表者が協議の上、代表チームが行う。 ・合同チームとしての参加を(社)大阪府サッカー協会第3種委員会 が別途了承する事。 ・合同チームの大会エントリーについては、1番下のディビジョンからのスタートとする。	
日没や落雷時の再試合について	●本来の規定とは異なるが、以下のように定める。 ・日没・落雷等により試合続行が困難な場合は試合を不成立とし、再試合とする。その判断は主審が競技運営者と協議の上、判断する。 ・日没・落雷に関わらず、中断後は残り試合時間を“再試合”として実施する。再試合時には中断時のメンバー表・申し送り事項用紙を準備する。 ・再試合時には中断した場所がインプレーであれば中断場所からのドロップボールにて再開する。アウトオブプレー時に中断した場合はその中断場所からの再開とする。 ・再試合の審判は中断前と同一審判が望ましい。 ・再試合の出場選手については同一選手が望ましい。中断期間中に別の試合で出場停止処分を受けた場合も、再試合には同一選手が出場する事とする。	
表 彰	・各ブロックの優勝チームには、優勝記念品を授与する。 ・モルテン・アドバンスリーグ大阪2011閉幕後、参加全チームを対象とした表彰式を行う。(日程/会場未定)	・各ブロックの優勝チームには、優勝記念品を授与する。 ・フューチャーリーグ閉幕後、参加全チームを対象とした表彰式を行う。(日程/会場未定)
そ の 他	・負傷者については各チームにて対応する事とし、主催者及び主管者は一切の責任を負わない。 ・大会参加チームは必ずスポーツ傷害保険に加入している事。 ・チームベンチにはメンバー表に記入された指導者・登録選手のみとし、保護者等のベンチ入りは一切認めない。 ・チーム事情で大会に支障(当日棄権など)が生じた場合は、規律・フェアプレー委員会にて後の処理を決定する。 ・やむを得ず棄権するチームは速やかに当該ブロック長及び大阪府3種委員会まで連絡する。 ・保護者等の応援位置や駐車箇所については会場責任者の指示に必ず従う事。 ・尚、本レギュレーションは今年度のみの採用とし、適宜改訂・改善を検討していくものとする。 ・各ブロックはブロック長を中心に運営する。 ・「リーグは全ての日程の基軸となる」事を念頭に、各チームは『グラウンド調査票』の提出期限を厳守するなど積極的に協力し、ブロック長が試合日程を組みやすくする。 ・各ブロックはブロック運営費により運営される。またその他にかかる費用はブロック内にて協議する事とする。 ・2011年度の試合結果(順位)は2012年度のリーグ戦に反映される事とする。 ・本レギュレーションには付帯資料として『2ndチームエントリーについて』がある。	

2ndチームエントリーについて

序文	・出場機会に恵まれない選手の“公式戦出場の機会”の確保を目的とし、モルテン・アドバンスリーグ大阪での複数チームエントリーについて定めるものとする。 ・チーム名表記については、チーム名は●●-2ndとする。 (例：リーグFCの2ndチームの場合⇒リーグFC-2nd / FCリーグの場合⇒FCリーグ-2nd)
参加費について	・複数エントリーは2チーム目以降、エントリーチーム毎に別途参加費を納めなければならない。 ・参加費については¥23,000-とする。
チーム・選手エントリー	・チームは中学3年生及び中学2年生の選手で構成されていること ・【モルテン・アドバンスリーグ大阪】 4月1日以降のWeb登録画面コピー(1部提出) ・エントリー用紙は複数チーム用を用いる ・1stチームにエントリーした選手は出場の有無に関わらず、2ndチームへの移動は認めない 但し、2ndチームから1stチームへの移動は認める。 ・その他はモルテン・アドバンスリーグ大阪要項に準ずる
スタッフについて	・代表者は複数チームの代表者を兼ねる事ができるが、ベンチ入りスタッフとして活動する場合は以下の基準に準ずる。 ・チームのベンチ入りスタッフは事前登録制とし、一方のチームにしか所属できない。 ・事前登録されていないスタッフはベンチ入りを認めない。 ・チームにはそれぞれ固有の帯同審判員を置く事とする。 ・帯同審判員も事前登録制とし、一方のチームにしか所属できない。 ・リーグ期間中の複数チーム間でのスタッフ・帯同審判員の移動・移籍については一切認めない。 ・スタッフは帯同審判員を兼ねることができる。
昇降格について	・2ndチームは優勝でき、表彰もされる。1stチーム直下のディビジョンまで昇格できる。 ・1stチームと2ndチームは同一ディビジョンに在籍できない ・1stチームが2ndチームのディビジョンに降格した場合、2ndチームは自動的に1つ降格する。 (1stチームが最下部ディビジョンまで降格した場合、2ndチームはエントリーすることはできない)
その他	メールアドレス：2011-advance@osaka-fa.jp

■4部が2ブロックの時(7~13チーム) (参加総数: 83~95)

※(a)3位の3チームのうち
通し順位が上位の2チームは
2部と入替戦を行う、3位は
入替戦に出場できない

※(b)7位の2チームのうち
通し順位が上位のチームは
自動昇格、下位のチームは
3部と入替戦を行う。

■4部が3ブロックの時(9～12チーム) (参加総数：96～n)

※(a)3位の3チームのうち
通し順位が上位の2チームは
2部と入替戦を行う、3位は
入替戦に出場できない

※(b)5位の3チームのうち通し
順位が最上位のチームを自動昇
格とし、残りの2チームは3部
と入替戦を行う
最上位・・・自動昇格
下位2チーム・・・入替戦

※(c)6位の3チームのうち
通し順位が最上位のチームは
3部と入替戦を行う

★4部の昇格に関わるチーム数について
ブロック数によって、昇格に関わるチーム数は
かわるが、全体で13チームが自動昇格、
3チームが入替戦に関わる

★残留希望について（昇格辞退）について
昇格を希望しないチームは昇格権を辞退することができる。次年度のエントリー時に3種委員会まで申し入れをすること。
但し、本規定は4部以下のみの適用とする。

Figure 1 illustrates the number of teams for each part (部) in a 5-part system. The diagram consists of five columns, each representing a part. The first column (1部) shows a single vertical stack of 14 small squares, labeled '9~14'. The second column (2部) shows a 5x5 grid of 25 small squares, labeled '30チーム'. The third column (3部) shows a 5x5 grid of 25 small squares, labeled '40チーム'. The fourth column (4部) shows a 5x5 grid of 25 small squares, labeled '40~52チーム'. The fifth column (5部) shows a 5x5 grid of 25 small squares, labeled '※4部が52チーム'.

※1ブロック10チームの2回戦制、1チーム18試合で行う
最下部のディビジョンは1ブロック7～13チームで構成